

バ、始メコレヲ放ツトキハ、闐々焉タリ、シバラク有テ、濛々焉タリ、悠然トシテ去ト、マコトシヤカニ答ヘケレバ、子産ゲニモトテ、手ヲ打喜バレケリ、校人ハ子産ハ欺キ易キ人也トテ笑ヒケレド、孟子ハ孔子ノ君子ハ、欺クニ其方ヲ以テスベシ、クラマスニ其道ニ非ルヲ以テシ難シト、イヘル言ヲ引テ譽ラレタリ、小人ニハ事ヘガタクシテ、悦シメ易シ、之ヲ悦バシムルニ、道ヲ以テセザルハ悦ブ、サレバ不正ノ小人近キ得ズ、欺ルベキコトナシ、仁ヲ離レテ働ラク智慧ハ、害アリトモ益ナシト知ルベシ、

〔本與錄〕一人君はたとひいかほど才智發明たりとも、其智を藏して、但人を去るを大智とす、人君みづから其智を用るは、人君の度にあらず、古人も評せり、夫一人の智限り有り、昔大舜を數聖人の内にて、大智と稱せしも、能人を知りて、人の智を用ひ給ひしこと故也、數千百人の智を用るは、何程才智發明たりとも、數千百人の智におよぶ理なし、是故に人君は能諫を納れ、衆人の言を容れて、其よろしき所を取るを、人君の度とす、去かしながら人の言を偏に信ずるは、姦の生ずる端なり、○中衆議の上にて、是非得失を論じて、其言を用れば、事に失誤なし、

〔子弟訓〕智

何事も其去なくを知る人をひろくたづねて他をなそしりそ

賢

〔類聚名義抄〕賢具三賢ヒシコシサカシ

〔伊呂波字類抄〕賢左賢サカシ 廉 傑 黠已上同

〔萬葉集〕麻呂歌一首

古之賢人之遊兼吉野川原雖見不飽鴨

右柿本朝臣麻呂之歌集出